



広報 常陸大宮

2017
2
No.149

主な内容

- P2～3 常陸大宮市成人式
- P8～9 叙勲・褒章を受章された方々
- P10～16 まちのできごと
- P14～15 常陸大宮クロスカントリー大会
- P17 常陸大宮大使観①



文化財防火デー放水訓練 (常弘寺)

【関連記事：P.13】

1月8日、市文化センターで平成29年常陸大宮市成人式が開催され、新成人たちが大人としての新たな一歩を踏み出しました。

今年の成人式は、平成8年4月2日から平成9年4月1日までの間に生まれた、市内在住者や出身者465人が対象で、378人が出席しました。振り袖や紋付き袴、スーツに身を包み、懐かしい顔を見つけると写真を撮り合ったり、話に花を咲かせたりと旧交を温め合う様子があちこちで見られ、会場内はたくさんの笑顔であふれていました。

式典は、成人式実行委員会委員の藤田華穂さん、皆川茉里奈さんの司会で進められ、記念品贈呈、三次市長と大畑委員長の主催者あいさつに続き、来賓の方々からお祝いや激励の言葉が贈られました。そして高野倉拓也さん、小泉佳菜さんによる「はたちの主張」で、周囲の人たちへの感謝の気持ちと将来に向けての決意が述べられました。

成人者たちが、この日の喜びと感謝をいつまでも忘れず、常陸大宮市で育ったことを誇りに思い、夢や希望を持って社会の中を力強く歩んでいってくれることを期待しています。



祝成人



式典を支えた実行委員

各中学校から選出された35人の実行委員の皆さんが、仕事や学業の合間をぬって会議を開催し、成人式の企画・運営を行いました。



高校生会も協力

高校生会の会員も、先輩たちの門出の日のため、準備や受付などに協力しました。



▲司会を務めた藤田華穂さん（左）と皆川茉里奈さん（右）

▲開式のことば 佐藤俊太さん

▲閉式のことば 佐藤凌太さん

▲小野佳奈さんの伴奏で国歌歌唱



▲委員長あいさつ 大畑翼さん

▲はたちの主張を発表した高野倉拓也さん（左）と小泉佳菜さん（右）

▲成人者を代表して記念品を受け取った坂本裕哉さん

パラオ共和国が本市で事前合宿 東京オリパラ

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、本市はパラオ共和国のホストタウンとして登録され、宮城県蔵王町とともに事前合宿の誘致に取り組んでいます。それを受けて、パラオオリンピック委員会のフランク・キヨタ会長他3人が本市を訪れ、1月14日には事前合宿地の内諾を受けました。

15日には、水戸グリーンカントリークラブで行われた「第6回常陸大宮クロスカントリー大会」や、市内の体育施設などを視察。市民球場や西部総合公園体育館などについて「規模が大きく優れた施設だと思う。本国の施設を造るうえでも勉強になった」と話していました。

【本市を訪れたパラオ共和国関係者】

- フランク・キヨタ（オリンピック委員会会長）
- テミー・シュムル（オリンピック委員会副会長・ペリリュー州知事）
- ケベコル・シュムル（オリンピック委員会アドバイザー）
- ドナルド・ハルオ（大統領特別経済顧問）



▲西部総合公園体育館を視察する4人



◀スターターを務めたキヨタ会長



▲交流会では全員で記念撮影

また16日には、大宮中学校を訪れ生徒と交流しました。はじめに武道場で柔道や剣道を見学。途中から実際に竹刀を持ち、面の打ち方などを体験しました。さらに書道や琴の演奏などにも参加しました。

授業見学の後は体育館に移動し、1・2年の生徒と交流会。はじめに、環玄希生徒会長が英語で歓迎の言葉を述べました。その後、キヨタ会長からパラオ共和国の文化や自然について話があり、生徒からの様々な質問に丁寧に答えていました。

【生徒たちとの交流の様子】



手数料
1通200円
※窓口と同額

平成29年2月から

証明書のコンビニ交付がスタートしました



常陸大宮市では、お近くのコンビニエンスストアで証明書等の取得ができる「コンビニ交付」を開始しました。コンビニ交付とは、マイナンバーカードを利用して市町村が発行する証明書（住民票の写しなど）が、全国のコンビニエンスストアに設置されている多機能端末機（マルチコピー機）から取得できるサービスです。

交付サービスを利用するためには、必ずマイナンバーカードが必要です。マイナンバーカードを取得して、ぜひご利用ください。

【利用できるコンビニ】

- ・セブン・イレブン
- ・セイコーマート
- ・ローソン ・ミニストップ
- ・ファミリーマート 他

【取得できる証明書】

- ・住民票の写し（本人分、世帯の全員分）
- ・印鑑登録証明書（本人分のみ）
- ・所得証明書（本人分、現年度分のみ）
- ・課税証明書（本人分、現年度分のみ）

【利用できる時間】

午前6時30分～午後11時まで
(12/29～1/3、メンテナンス日を除く)

こんなに便利！コンビニエンスストアでの交付

○休日に証明書を取得したい

毎日、午前6時30分から午後11時まで利用できます。平日昼休みや夜間、休日でもOK。

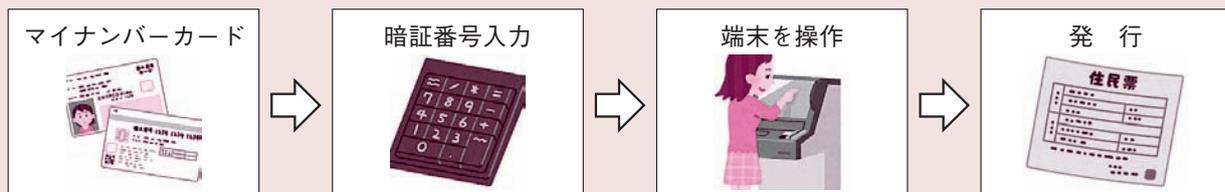
○出かけた先で急に証明書が必要になった

常陸大宮市内だけでなく、全国のコンビニエンスストアで取得できます。

○操作方法が難しそう

マイナンバーカードを持って、コンビニエンスストアの多機能端末機（マルチコピー機）へ

- ①メニュー選択→
- ②マイナンバーカードを読み取り→
- ③暗証番号（4桁の番号）を入力→
- ④証明書の種類等を選択→
- ⑤発行内容確認→
- ⑥料金支払い→
- ⑦印刷・発行



※多機能端末機（マルチコピー機）が設置されている店舗に限ります。

本市に住民票があり、利用者証明用電子証明書に暗証番号を登録したマイナンバーカードをお持ちの方が対象です。一度取得した証明書の交換や返金はできません。

マイナンバーカードを取得しましょう(初回の交付手数料は無料です)

申請方法 その1 (郵送申請)

申請書



顔写真

- ①個人番号カード申請書に、署名または記名押印
- ②顔写真を貼り、電子証明書等の内容を確認
- ③返信用封筒に入れ、郵便ポストへ！

申請方法 その2 (スマートフォンでのオンライン申請)

郵送も面倒・・・

そんな方は！！

スマートフォンのカメラで交付申請書の「QRコード」を読み取り、必須事項を入力して、顔写真を撮影⇒オンライン申請

■問い合わせ■ 市民課 市民グループ ☎52-1111 (内線102)

第2回男女共同参画

川柳・標語・写真コンテスト受賞作品

男女共同参画社会の啓発、推進を目的とした川柳・標語・写真を市民の皆さんから募集しました。何気ない日常の中で、「一人ひとりの個性と能力がキラリと光り輝いている」場面を切り取った素敵な作品が集まり、審査の結果、以下の作品が受賞しました。多数のご応募ありがとうございました。

なお、3月7日(火)午後から17日(金)午前の期間、市役所1階ロビー内で全応募作品を展示します。ぜひご覧ください。

- ・応募期間 平成28年12月12日～平成29年1月31日
- ・審査日 平成29年2月14日 *市男女共同参画推進会議で審査しました
- ・応募総数 一般の部 13作品、小中学生の部 255点、合計 268点



〔敬称略〕

〔写真〕

最優秀賞 「ぼくにもできる。」河野 真奏（大賀小1年）
赤ちゃんにミルクをあげるのは、お母さんだけじゃなくパパやぼくにもできる！みんなで協力すれば、お母さんも楽しく育児や家事ができると思います。

〔川柳〕

最優秀賞 ぼくとパパ ママにへんしん 日曜日（上野小3年 小又匠人）
優秀賞 お手伝い ぼくがやるから 休んでね（御前山小4年 疋田康成）
無くそうよ 男子と女子の 境界線（第二中2年 沼田瑛稔）
母のそば そうと手伝う 父の背が（第二中1年 中川紹子）
入選 大掃除 家族みんなで 分担だ（第二中3年 鈴木翔太）
男女とも できるできない 自分で決める（第二中1年 小林佳奈）
虫採って 男でしょうは 不公平（第二中1年 笠間紀克）
おとこたち やってやろうぜ 家事育児（第二中3年 小橋一輝）

〔標語〕

最優秀賞 母仕事 今日の夕食 シェフは父（大賀小6年 根本拓夢）
優秀賞 男だから、女だから、そんな壁なんてない 限らない未来への挑戦（山方中1年 高林大和）
男女（とも）に生き 共同（とも）に作ろう 明るい未来（第二中1年 小林大成）
口だけじゃなく 実現しよう 男女平等社会（第二中3年 茅根海斗）
入選 同じ人間だから、男も女も関係ない 個性のある生き方が大切（山方中1年 掛札美蘭）
性別じゃない 自分らしさが 一番良い（山方中1年 川野辺ひかる）
できること 一緒にやろう 男女でね（第二中3年 横山結花）
新たなる 時代は男女の 参画だ（第二中3年 小橋翔太）
男子でも女子でも できることは無限にある（第二中3年 大賀舜介）
できないもん そんな言葉で 終わらすな（第二中3年 二方優斗）

〔川柳〕

最優秀賞 トランプで ババ抜きしない 古い二人（下村田 鈴木晴勝）
優秀賞 おかたづけ パパがはこんで わたしふく（上村田 吉澤剛）
入選 築くのは 男女が関わる 明るい未来（宇留野 樋田尚子）

〔標語〕

最優秀賞 家事・育児 家族みんなで がんばっぺ!!（鷹巣 根本博之）
優秀賞 作ってく 男女一緒に みんなの未来（岩崎 金子英樹）
入選 男女の差をなくそう！～すてきな社会づくり～（鷹巣 岩間ゆかり）



小
中
学
生
の
部

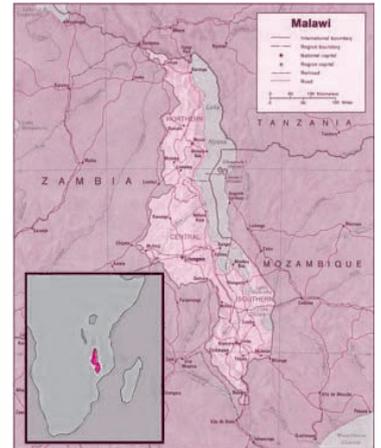
一
般
の
部

■問い合わせ■ 市民協働課 市民協働グループ ☎52-1111（内線126）



海外通信 from マラウイ No.7

2015年1月に、国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊員として、アフリカのマラウイに派遣された小河原香織さん（市内野上出身）が帰国しました。



「追伸」

小河原 香織



約2日かけて、日本に帰ってきました。久しぶりに寒さと冷たさを感じ、その感覚を満喫している自分がここにいます。

私が青年海外協力隊として活動していたマラウイでは、雪を見ることはありません。しかしマラウイでは、たくさんの日本に関連することを見つけることができました。一番多いものは、日本で仕事を終えた車です。すでに何万キロも走ってきているはずなのに、マラウイでは現役です。マラウイの道は、日本の舗装された道とは比べものにならないほど悪い。それでも運転手はきちんと車を操作し、日本製の素晴らしさを訴えてくる人もいました。

マラウイには様々な国からの援助が入っています。アメリカ、イギリス…そして日本。わたしはJICAのメンバーとして活動してきましたが、よく声をかけられました。またその援助のおかげで、日本に勉強をしに来たことがある現地の人も多くいます。彼らのほとんどは、私と久々の日本語を話せることを喜んでいました。

職場であったTDC（教師研修センター）には、小さな小さな図書館があります。その中でも、日本に関するものを見つけることができました。



▲私が教えていたクラスの子どもたちと担任の先生

例えば、広島の前原爆の話や昔話などです。さらに学校では、サンリオのハローキティや任天堂のマリオなど、日本のキャラクターが入ったTシャツを着ている子を見かけることもあります。

遠く離れたアフリカでも、日本はこんな風に伝わっています。これから私たちは、どんなことを発信していくのでしょうか。

市民の皆さんからまちのできごとを募集しています

広報常陸大宮では、「市民の方からのまちのできごと」を募集しています。皆さんがお住まいの地域のできごとについて、原稿か写真を直接秘書広聴課へお持ちいただくか、メール等でお送りください。また希望があれば取材に行きますので、情報の提供をお待ちしています。

※ただし、内容が営利・宗教・政治的なものや公序良俗に反するものなどは掲載できません。

また紙面の都合上、掲載が遅れる場合もありますのでご了承ください。

【問い合わせ】 政策審議室 秘書広聴課 ☎52 - 1111 (内線312) FAX53 - 6010
〒319 - 2292 常陸大宮市中富町3135 - 6
Eメールアドレス→ hishokou@city.hitachiomiya.lg.jp



平成28年に叙勲・褒章を受章された方々

(発令順)

◇瑞宝双光章

木村 政一さん
(野上 教育功労)



昭和23年に上小川村立上小川中学校に奉職され、大宮中学校教諭、太子町立大沢小学校教頭を経て昭和59年に久隆小学校長に栄進なされました。昭和63年に退職されるまで長きにわたり、確固たる教育理念と生徒への深い愛情をもって、学校教育の進展に貢献なされました。



◇瑞宝小綬章

荒井 保さん
(中富町 自治功労)



昭和38年に県農林水産部農産園芸課職員に奉職され、総務部管財課長、議会事務局次長兼総務課長、福祉部次長、鹿行地方総合事務所長を歴任なされました。その後平成11年に退職されるまで、豊かな行政経験と卓抜なる見識を持って、地方自治の発展に貢献なされました。



◇旭日双光章

菊池 正氣さん
(舟生 文化財保護功労)



高等学校を卒業後、家業である西の内紙製作に従事し、伝統的な技法を守り現在に至るまで50年以上にわたり、郷土の伝統文化の推進に尽力されています。この間、手漉き和紙の直売所「紙のさと」を開業、その後「紙のさと和紙資料館」を開設し、様々な活動に取り組みされております。



◇瑞宝単光章

木村 宗之さん
(西野内 国勢調査功労)



昭和40年に国勢調査員に任命されて以来、連続10回、45年の長きにわたり従事され、その責務を確実に遂行されました。さらに、農林業センサス調査連続10回、県農業基本調査20回、住宅・土地統計調査、事業所・商業統計調査員として通算70回の各種調査に従事されました。



◇瑞宝単光章

木村 一雄さん
(小瀬沢 消防功労)



昭和28年に小瀬村消防団員として入団、昭和31年の村合併後、緒川村消防団部長を経て、平成元年に副分団長に栄進されました。平成5年に退団されるまで、39年の長きにわたり豊富な経験と知識を活かし地域防災力の向上に精励され、消防行政の発展に尽力なされました。



◇瑞宝単光章

杉山 克夫さん
(小場 郵政業務功労)



昭和46年に水戸郵便局集配課に奉職され、水戸中央郵便局第二集配課を最後に、平成20年に退職されました。その間、37年の長きにわたり、郵政の社会的役割と使命を深く認識し、円滑な業務運営と郵政事業の発展に貢献なされました。



◇瑞宝単光章

河野 碩也さん
(高部 消防功労)



昭和22年隆郷村消防団員として入団、昭和31年の村合併後美和村消防団副分団長を経て、昭和55年に分団長に栄進されました。その後退団されるまで、35年の長きにわたり、村民の生命財産を守るため日夜献身的に精励され、消防活動の推進に尽力なされました。



叙勲・褒章とは…

栄典として、国家または公共に対し、功労のある方へ勲章を授けることを叙勲、社会の各分野における優れた行いや業績のある方へ、褒賞の記章を授与することを褒章といいます。

生存者に対する叙勲・褒章は、原則として春と秋の年2回行われています。戦後一時停止されていましたが、1964年から叙勲、1978年からは褒章が再開されました。

◇瑞宝双光章

松平 勝男さん
(長倉 教育功労)



昭和22年に八里小学校に奉職され、野口小学校教諭、大宮西小学校教頭を経て、昭和60年に長倉小学校長に栄進されました。平成元年に退職されるまで長きにわたり、教育一筋に打ち込み卓越した指導力と深い研究心をもって、学校教育の進展に貢献なされました。



◇瑞宝双光章

山田 源一さん
(中富町 労働行政事務功労)



昭和22年に常陸大宮公共職業安定所に奉職され、日立・水戸公共職業安定所、県商工労働部職業安定課・失業保険課を経て、水海道公共職業安定所や下館公共職業安定所の所長を歴任なされました。昭和61年に退職されるまで長きにわたり、労働行政の進展に尽力なされました。



1/12 新年賀詞交歓会を開催しました

新春恒例の新年賀詞交歓会が、西部総合公園体育館で約300人が参加して盛大に開催されました。

はじめにアトラクションとして、「津軽三味線悠絃会」の皆さんによる演奏が披露され、力強いバチの響きと柔らかい音色に会場からたくさんの拍手が上がっていました。

その後、市長や来賓の新年のあいさつに続き、叙勲・褒章受章者への記念品贈呈、市へ寄付等をしていただいた団体や個人への感謝状の贈呈が行われました。最後は、昨年「常陸大宮さん」認証品となったゆずサイダーで乾杯し、新しい年の出発を祝いました。



▲津軽三味線悠絃会の演奏



▲ 特産品のゆずサイダーで乾杯

1/8

災害のない一年を願って

おおみや消防広場（辰ノ口地内）で、恒例の消防出初式が行われました。式では、消防団協力事業所や長年消防団活動に貢献された方などを表彰。また団員の服装確認や車両点検の後、分列行進が披露され、防火・防災への誓いを新たにしました。

今回表彰された消防団協力事業所とは、市と事業所が連携して、消防団員の確保や活動環境の整備を行うことを目的とし、平成22年12月に制度が制定されました。現在市内27事業所が登録され、地域防災力の維持・向上に努めています。



2/1

コンビニで証明書交付スタート

マイナンバー制度の施行を受け、交付が始まったマイナンバーカード。このカードを使ったサービスのひとつとして、全国のコンビニエンスストアなどで各種証明書の交付が可能となりました。

交付がスタートした2月1日、セブンイレブン常陸大宮石沢店で、三次市長が店内の多機能端末機（マルチコピー機）を操作して証明書を取得しました。実際に操作した市長は、「思ったより分かりやすい操作で、誰でも簡単に発行できると思う。ぜひ利用してほしい」と話していました。

このサービスは、全国のコンビニエンスストア約5万4千店舗で利用することができます。



住民票を取得した▶
三次市長

11/24

教育委員会で事業等を点検・評価

市教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価を行っています。

評価委員として、茨城大学教育学部教授の望月厚志氏、元県職員の新家洋一氏・武藤賢治氏の3人に委嘱し、平成27年度の活動状況及び実施した事務事業のうち8事業について、点検・評価を実施しました。

その結果、教育委員会会議の開催状況、協議、報告等は適正に執行されているとの意見が出されました。



▲タブレットを活用した授業（明峰中学校）

点検評価対象の8事業については、「拡充」4事業、「現行どおり」4事業と評価されました。「拡充」と評価された事業のうち、「フューチャースクール推進事業（小学校・中学校）」では、学校のどんな場所でもコンピュータ等が使用できる環境を整えることは、子どもたちの情報処理・活用能力の育成上必要であるという意見が出されました。また、「家庭教育学級事業」では、家庭教育の重要性は認識されているものの、多くの保護者や家族がその方策を理解していないと考えられ、より一層注力すべき事業で拡充との意見が出されました。その他の意見等については、市ホームページをご覧ください。

市教育委員会では、今後も毎年教育行政点検評価を実施し、教育委員会活動の透明性を高め、市民の方から信頼される教育行政を推進していきます。

詳細は常陸大宮市ホームページ⇒

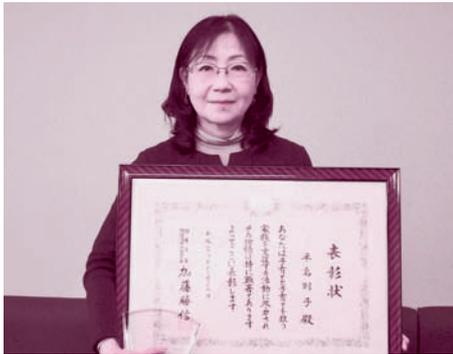
<http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/page/page002467.html>

12/26

内閣府から表彰されました

内閣府が主催する「子供と家族・若者応援団表彰」で、平島則子さん（南町）が、内閣府特命担当大臣から子育て・家族支援部門で表彰されました。これは、子どもや若者、子育てを担う家族を支援する活動において、顕著な功績があった企業や団体・個人に贈られます。

平島さんは、読み聞かせや朗読などに長年携わり、いばらき昔ばなし大学再話研究会の代表も務めています。また市人権擁護委員や青少年育成市民会議推進委員なども歴任し、様々な取り組みが評価され今回の受賞となりました。



▲賞状と記念の盾を手にする平島さん

1/18

県統計功労者表彰

茨城県庁で、平成28年度茨城県統計功労者表彰式が開催されました。式では、統計功労者の表彰、感謝状の贈呈のほか、叙勲・褒章受章者の紹介、また統計グラフコンクール入賞者の表彰が行われました。

●茨城県知事表彰

宮崎 利貞さん（八田）
大曾根正子さん（鷹巣）
浅川 弘道さん（上大賀）



●茨城県統計協会総裁表彰

細貝 裕さん（西野内）、長山 典雄さん（上小瀬）
金子 健さん（長田）、大賀 陽一さん（東富町）

●総務大臣表彰（家計調査）

相田喜一郎さん（中富町）

●総務大臣表彰（平成27年国勢調査）

佐藤 郁さん（大岩）、内田 健一さん（高部）
関 邦子さん（姥賀町）

1/18

茨城放送と災害時協定を締結

台風・地震などの災害の発生や、そのおそれがある場合に、市から茨城放送に対し、緊急情報の放送を要請する協定を結びました。これは、茨城放送のエリア内のAM波・FM波を通じ、避難勧告など市民への安全に関わる大切な情報を、迅速かつ確実に伝えることを目的としています。

防災行政無線やテレビのデータ放送、携帯電話への緊急速報メール等とともに、茨城放送のラジオを通じて、非常時の情報伝達の手段を増やし、市民の皆さんへ情報を伝えていきます。



▲調印式の様子

【「避難準備情報」の名称が変更になりました】

災害の発生時に市が発令する情報の名称が、以下のとおり変更になりました。情報の内容をよく確認して、身を守るための行動をしましょう。

<変更前>



<変更後>



※「避難準備情報」に「高齢者等避難開始」が加えられました。これは、昨年の台風10号の水害時に、高齢者施設において適切な避難行動がとられなかったため、内閣府が名称を変更したものです。

避難に時間を要する人（高齢者・障害者・乳幼児連れの方等）は、早めに避難を開始しましょう。

1/16
~17

大館曲げわっぱと紙漉きの職人が交流

本市と大館市は、交流事業のひとつとして両市の地域資源を活用した産品開発事業を進めています。今回、大館曲げわっぱ伝統工芸士組合（佐々木悌治会長）の職人4人が、西の内紙や奥久慈漆塗りの現場を視察。また、本西の内紙保存会（菊池三千春会長）など本市の職人たちと、コラボ産品についての意見交換会を行いました。

会議では、産品の特性を活かした商品開発についての具体的なアイデアなど、活発な意見が交わされました。



▲西の内紙 紙のさと資料館を視察

佐々木会長は、「視察したことで、西の内紙漉きが長年研究と工夫を重ねた素晴らしい技術であることがわかり、見識が深まった。今度は大館曲げわっぱの製作現場も見てもらいたい」と話していました。



▲かわプラザで行われた意見交換会



常陸大宮市・大館市友好都市推進協議会Facebook

こちらのQRコードから⇒



☆ いっしょにまちづくり ☆

常陸大宮お宝発見事業をとおして

サポートボランティアとして、「常陸大宮市小学生のお宝発見事業」に数年前から参加しています。初めは「小学生の子どもたちと楽しくふれあいたい」という思いで活動していました。



茨城大学教育学部
2年 平山 稜さん

しかし次第に子どもたちに愛着がわき、この事業をとおして成長してほしいと思うようになりました。この事業は、常陸大宮市のお宝、すなわち魅力のある場所や人、歴史、遺跡や文化などを見たり体験したりして学ぼうというものです。このような経験をした子どもたちが成長して、市を背負っていくことを想像すると頼もしく感じます。今後もこの事業に参加し、子どもたちの「学び」をサポートしていきたいと思います。

1/12 「ひよっこ」タイトル使用説明会

企業等約40団体が参加して、『連続テレビ小説「ひよっこ」番組タイトル使用に関する説明会』を開催しました。

説明会を開催したのは、昨年10月に県北6市町で発足した茨城県北「ひよっこ」推進協議会。番組タイトルやロゴを活用した商品が、地域の知名度向上や観光・産業振興に繋がるため、地元企業には積極的な商品開発を期待しています。説明会では、株式会社NHKエンタープライズから手続きや使用条件等について説明があり、参加者から多くの質問の声が上がっていました。

この春から「ひよっこ」関連の商品が、地域を盛り上げてくれそうです。



▲説明会には多くの団体が参加しました

1/25

貴重な文化財を火災から守ろう

毎年1月26日は文化財防火デーです。

昭和24年のこの日、法隆寺金堂の壁画が焼損する火災が起きました。これを機に火災があった1月26日が、文化財防火デーと定められました。そしてこの前後に、毎年全国的に文化財防火運動が展開されています。

本市においても、教育委員会と消防本部が合同で市内40か所の文化財所有・管理者を訪問し、消防設備の点検や防災指導を実施しました。

さらに今年は、常弘寺（石沢地内）で消防訓練を行いました。常弘寺は、親鸞聖人の二十四輩第二十番の霊場で、昔から多くの人々に信仰を受けてきた由緒あるお寺です。本堂には、阿弥陀如来立像と聖徳太子立像があり、2体とも県指定文化財になっています。

訓練には、お寺関係者、隣接する若草幼稚園の園児及び職員、東消防署、教育委員会が参加。まず初期消火訓練では、檀家の皆さんが力を合わせてバケツリレーをしました。その後、隣接する若草幼稚園の園児達は火事の知らせを聞き、落ち着いて避難をしました。園児の避難後、消防によるお寺への放水訓練が行われ、迫力ある水しぶきに歓声が上がっていました。

火災は、数百年もの間地域で守られてきた宝を一瞬で奪ってしまいます。今回の訓練は、身近にある貴重な文化財の存在を再確認し、もしもの時に迅速な行動が取れるよう備える機会となりました。

皆さんの回りにも多くの貴重な文化財があります。私達のふるさとの貴重な宝を火災等から守るため、今後も市民の皆さんのご協力をお願いします。



▲バケツリレーで初期消火



▲放水を見守る園児たち



▲防火設備点検等見回り
(佐伯神社：野口地内)

1/21

「雪村 謎の生涯を追う」講演会を開催

茨城新聞創刊125周年を記念して、「雪村 謎の生涯を追う」と題した講演会が、市文化センターで開催されました。これは茨城新聞社が主催し、講師として富山章一茨城県郷土文化研究会会長が招かれました。

講演では、日本を代表する偉大な水墨画家であり、本市が生誕の地との定説がある「雪村」の出生から旅立ち、画聖への道などを紹介。現在は雪舟ほど知られていないことなどから、今後、雪村の謎に満ちた部分の整理や、誰もが納得する情報収集の必要性などについて話がありました。

会場は用意した席が足りなくなるほどの盛況で、市民や県内各地からの来場者は、講師の分かりやすく丁寧な説明に聞き入っていました。



▲雪村について語る富山章一氏

第6回常陸大宮クロスカントリー大会兼 みんなで楽しくグリーンウォーキング

2017年パラオ共和国クロスカントリー大会
派遣選手選考競技会



1月15日、水戸グリーンカントリークラブ山方コースで、常陸大宮クロスカントリー大会が開催されました。空気が冷たく澄み渡った青空のもと、整備された芝生の上を約2千人のランナーが駆け抜けました。また、ゲストランナーとして為末大さん、野口みずきさん、箱根駅伝優勝の青山学院大学から森田歩希選手などが参加し、大会を盛り上げました。





《部門別の結果》

種目	部門	1位	2位	3位
1000m	フリーラン	大和田 潤(笠間市)	蓮田隆之助(城里町)	菅谷 来未(栃木県)
	小学男子(3年以下)	川又 大知(常陸太田市)	木村 祐介(常陸大宮市)	鯉沼 梨玖(大子町)
	小学女子(3年以下)	佐藤 舞歩(福島県)	添田 結衣(福島県)	坏 知世(常陸大宮市)
2000m	小学男子(4年以上)	吉田 翔眞(福島県)	添田 祥平(福島県)	大和田 陸(笠間市)
	小学女子(4年以上)	長坂 柊花(岩手県)	西楨 杏莉(福島県)	圓谷 仁渚(福島県)
	中学男子	大辻 頌悟(ひたちなか市)	大津 歩陸(常陸大宮市)	矢板 慈生(常陸大宮市)
	中学女子	安藤 優花(北茨城市)	鹿志村しいな(ひたちなか市)	長坂 桜花(岩手県)
4000m	中学男子	小玉 瑞葵(福島県)	西楨 駿祐(福島県)	金子 鉄平(東海村)
	中学女子	木村 心優(古河市)	外山こころ(常陸大宮市)	吉田 萌未(東京都)
	高校男子	綿引 大樹(日立市)	菊地 廉(日立市)	木村 元(常陸太田市)
	高校女子	市川 琴乃(水戸市)	竹村 智絵(笠間市)	鈴木アンジェリカ(福島県)
	一般男子(18歳以上)	大森 湧太(大子町)	塩澤 裕也(福島県)	若菜 優雅(福島県)
	一般女子(18歳以上)	伊豫田 歩(土浦市)	綿引しずか(常陸大宮市)	佐藤 亜美(常陸大宮市)
	一般男子(40歳以上)	瀬戸 隆行(福島県)	鈴木 宏之(つくばみらい市)	東 浩司(つくば市)
一般女子(40歳以上)	本城 幸子(高萩市)	小園 孝子(常陸太田市)	飯田 久子(那珂市)	
6000m	高校男子	久留戸黛良(千葉県)	橋口 大希(千葉県)	北 厚(千葉県)
	高校女子	小幡 美貴(千葉県)	石川 英沙(千葉県)	谷藤 千夏(千葉県)
	一般男子(18歳以上)	金塚 洋輔(山形県)	渡邊 優介(栃木県)	兼子 卓也(福島県)
	一般女子(18歳以上)	桑原 絵理(福島県)	荒井 芽衣(水戸市)	豊嶋眞樹子(鉾田市)
	一般男子(40歳以上)	大辻 竹仁(ひたちなか市)	吉岡 修(千葉県)	根本 強(那珂市)
	一般女子(40歳以上)	高橋 雅子(東海村)	馬場 則子(福島県)	今野 祥子(常陸太田市)

第18回山方宿若あゆ駅伝大会を開催

開催日：12月24日

主催：山方体育協会（木村則義会長）

コース：山方宿通り（山方総合支所前～JR山方宿駅の折り返し）

参加チーム：低学年の部11チーム、高学年の部10チーム



毎年恒例の山方宿若あゆ駅伝が、12月24日に開催されました。山方宿通りを往復する走路には、選手の家族や関係者などが大勢駆け付け、寒空の下、必死にタスキをつなぐ選手たちに声援を送っていました。

《低学年の部：小学1年～3年》

優勝 Lucky 7 EX 2 （水谷心哉、後藤陽心、後藤航大、鈴木康介、桜井蓮、棚谷心翔）

準優勝 スカイ・レディバー （木村祐介、高村芽衣、井坂蓮、増子遼、菊池すず、坏知世）

第三位 南風ドリーム 6 （木村光汰、海老根嘉斗、金子陽奈乃、川井杏夏、鈴木敬也、大森翔太郎）

区間賞	1区	2区	3区	4区	5区	6区
女子	石井麗乙女	太田 千咲	菊池 心音	川井 杏夏	菊池 すず	坏 知世
男子	木村 祐介	海老根嘉斗	後藤 航大	鈴木 康介	鈴木 敬也	棚谷 心翔

《高学年の部：小学4年～6年》

優勝 ファイブスターズ!! （後藤遥生、桐原叶登、川井拓真、野上晴杜、鈴木雄翔）

準優勝 Reach the top ! （猿田莉子、鈴木輝、木村奈央、木村祐介、木村知世）

第三位 ドナルド・トランプ! （木村俊太、鈴木龍生、バルザーブライアン、増子滉太、武石滯穩）

区間賞	1区	2区	3区	4区	5区
女子	猿田 莉子	鈴木 輝	木村 奈央	藤田 梨桜	木村 知世
男子	後藤 遥生	橋本 龍征	小林 雅紀	増子 滉太	鈴木 雄翔



▲低学年の部優勝の「Lucky 7 EX 2」



▲高学年の部優勝の「ファイブスターズ!!」

こんにちは！常陸大宮大使です

常陸大宮済生会病院名誉院長 伊東 紘一さん（岩手県陸前高田市在住）



ひたちおおみや
常陸大宮
たいし かん
大使観①

「常陸大宮大使」は、市の魅力や情報を全国に発信し知名度を高めるとともに、まちづくりへの意見や情報を提供してもらい、市の産業・文化・観光等の振興を図るため、平成21年に設置されました。

現在35人が大使として委嘱され、今月号から不定期に大使の活動報告などを行っていきます。



済生会陸前高田診療所（仮設）



津波で町が全滅した
陸前高田市気仙町今泉

【陸前高田市での復興活動】

私は、常陸大宮済生会病院の創立時の院長としての役割を果たした後、東日本大震災で町が壊滅し、2千人近くの犠牲者を出した岩手県陸前高田市に来て、被災者のために済生会陸前高田診療所を開設しました。仮設診療所では1年4か月診療を行い、患者登録数は3千人、延べ9千人の患者を診察しました。

この地で、被災者や市民・町民に診療や健康教室等の活動を行う場合には、常陸大宮市の状況や経験などを参考にして、医療・情報提供活動を行っています。

陸前高田市は、非課税世帯が2,155世帯（全世帯の30%）あり、震災被災者証明により医療費負担の免除が1,456世帯（20%）になるため、無料低額診療事業が必要になります。また、済生会病院で診療を受けられない住民に対する支援を行うために「一般財団法人吉田記念今泉財団」を設立しています。

震災以降、仮設での診療活動を行ってきましたが、2017年1月に本設診療所が完成しましたので、今後も引き続き常陸大宮市と連携を図り、この地での医療活動の充実に力を注いでいきたいと考えています。



▲診療所と職員宿舎が今年1月完成

【仮設住宅での健康教室の様子】

健康教室の開催や、常陸大宮済生会病院を参考に、無料低額診療事業の説明などをしています。



農家民泊推進担当の間瀬です。

来年度の農家民泊の日程がほぼ決まりました。今年度と同じ学校がやってきます。学年が上がるので来る生徒は変わりますが、同じ学校が体験に来ることで、体験側と受入地域の繋がりがより深くなっていると思うと、感慨深いものがありますよね。



▲借用した畑計20a (那賀地内)

※農家民泊とは…農村などに滞在し、農業体験やその地域の自然・文化に触れ、地元の人々と交流すること。

そんな農家民泊事業にも高齢化の波はやってきていて、受入家庭の方々は毎年着実に年齢を重ねています。元気いっぱいの子供たちの相手をするのも大変で、このままだと何年か先には事業が立ち行かなくなる可能性もあります。

そうならないためには、若い世代にも関わってもらい、地域全体で盛り上げていく必要があります。一翼を担えるかどうかは分かりませんが、今年は少しだけ畑を借りました。自分自身が農業を実践し、そこで感じたことを発信して、農家民泊の推進に繋げていきたいと思っています。いずれは私も受入家庭として、生徒たちを迎え入れることができるかもしれません。農家デビュー1年目の36歳ですが、どうぞよろしくお願いいたします。



▲自作簡易温室で育てているきゅうり苗と間瀬隊員

VOL.32

職員のつぶやき ~職員リレートーク~

健康推進課保健師の寺門梨沙です。

母子保健業務で、乳児健診・乳児相談・マタニティ教室を担当しています。また、赤ちゃん訪問や特定保健指導では、南町と泉地区を担当していて、家庭訪問等を行っています。毎日、乳幼児から高齢者まで幅広い年代の人と会い、人と関わる楽しさを感じています。

今後さらに保健師としての専門性を高め、信頼される保健師を目指していきたいと思っています。

4月から健康推進課で保健師として働いている、檜山七海です。10か月経っても、まだまだ緊張の毎日ではありますが、少しずつ仕事や環境にも慣れてきました。

私の担当している地区は、東野・八田・若林地区と上町です。これから住民健診や結果説明会などで会う機会も増え、担当地区では訪問することもありますので、この機会にぜひ覚えてもらいたいと思います。よろしくお願いいたします。



寺門さん(左)、檜山さん(右)



スポーツクラブひたまる25情報局 Vol.30

昨年から山方公民館を会場に開講したスケートボード教室。講師を務めたジェシー池下先生から、来季に向けてのコメントをいただきました。

「1年間スケートボード教室をやってみて、保護者の方のご協力もあり、とても楽しい雰囲気の中で教えることができました。ありがとうございました。私は常陸大宮市で生まれ育った人間なので、引き続き教室をやってスケボーを楽しむ子どもを増やしていきたい。そして将来的には、スノボやサーフィンなどアクションスポーツといわれる分野に挑戦する人材を、地元から輩出できたら素晴らしいことだなと思っています。来期もぜひジェシー池下のスケートボード教室にご参加ください。お待ちしております。」

■問い合わせ■ スポーツクラブひたまる25事務局 ☎55-9666 FAX 55-9667
生涯学習課 生涯学習グループ ☎52-1111 (内線342、343)



▲スケボー教室講師のジェシー池下先生

ふるさと見て歩き 第110回

雪村

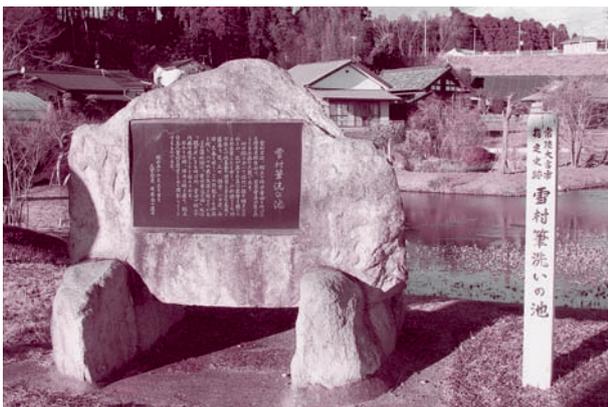
皆さんは雪村をご存知でしょうか。雪村は室町時代から戦国時代にかけて関東以北で活躍した水墨画家で、ほぼ同時期に活躍した雪舟と合わせて「西の雪舟、東の雪村」と称えられるなど、後世に大きな影響を与えました。

生没年にはいくつかの説がありますが、1500年頃に生まれ、1580年頃に亡くなったとされています。当時としては長寿である80歳を超えても画業に取り組むなど、絵に対する情熱は生涯衰えませんでした。

【雪村の生涯】

雪村は、室町時代の後期に常陸国部垂（現在の大宮地域）に生まれたという説が有力です。当時常陸国北部に勢力を持っていた佐竹氏の一族の長男として生まれましたが、父が側室の子であった弟に家督を譲ることを望んだため、武士としてではなく、出家して僧となる道を選んだともいわれています。

その後、常陸国増井（現在の常陸太田市増井）の正宗寺で修行し、絵の世界に親しんでいったと考えられます。



▲下村田にある雪村筆洗いの池と石碑

古くより市内村田地区には、雪村がこの地に居住したとの言い伝えがあります。現在の下村田には、雪村筆洗いの池、出家したといわれる場所・五林堂の跡地にある室町期の五輪塔、雪村と所縁があるといわれている福聚寺跡などの足跡が存在し、今に伝えています。

近隣には部垂城や宇留野城も存在しており、城主であった佐竹（部垂）義元※など、同じ佐竹一族との関

わりも深かったとみられています。

※佐竹家第十六代義篤の実弟。部垂の乱を起こすが天文九（1540）年に敗れる。



▲下町にある部垂城跡(右)と部垂義元の墓碑(左)

雪村はのちに常陸国を離れ、会津（福島県）の蘆名氏や小田原（神奈川県）の北条氏、三春（福島県）の田村氏など東国の各地を訪ね、画家としての研鑽を積むと同時に、弟子の育成に励んだと考えられます。訪れた先々には、現在も多くの作品が残されています。晩年には三春に住んで作画に励んだと伝えられています。現在、「雪村庵」と呼ばれている庵が建てられていますが、この地で雪村は生涯を終えたといわれています。

東国各地を巡り、長い鍛錬を経て描かれた雪村の絵は、「用いるところの筆は狂逸にして奇思あり（描くところは狂逸で、ふしぎな感動がある）」（笠井昌昭他訳注、1985、『訳注 本朝画史』より）と評され、その力強くも個性的な画風は、後世の尾形光琳、谷文晁など各時代を代表する画家にも多大な影響を与えました。

【近年の評価】

ひょうひょうとした雪村の作品は海外でも人気が高く、近年国内でもたびたび大きな展覧会が開催され、その自由な作風に様々なクリエイターが刺激を受けています。最近では、茨城新聞創刊125周年を記念して、雪村と所縁のある常陸太田市と本市で、「雪村 謎の生涯を追う」と題した講演会が開催（本市では1月21日）されるなど、多くの注目を集めています。また3月下旬からは、東京芸術大学で大規模な雪村展が開催されます。

雪村は本市に関わる歴史上でも著名な人物。故郷の偉人雪村を知るために、お出かけになってはいかがでしょうか。

歴史文化振興室 ☎52-1450

健康通信

常陸大宮済生会病院

内科・呼吸器科
中山 雅之 先生

睡眠時無呼吸症候群について

睡眠時無呼吸症候群は、眠っている間に呼吸が止まる病気です。

喉や気道が塞がってしまう閉塞性と、脳から呼吸指令が出なくなる中枢性の2種類があります。

10秒間以上の気流停止（簡単に言うと呼吸が止まる、または弱くなること）を無呼吸とします。

<リスクと予防方法>

寝ている間におきる無呼吸のために、気付かないうちに普通の生活で様々な危険が生じることがあります。重症の睡眠時無呼吸を放っておくと、心臓病や脳卒中を引き起こしたり、眠気によって交通事故を招いたりすることがありますので、注意が必要です。

予防法として、体重を落とす・飲酒を控える（寝酒は睡眠時無呼吸を悪化させる）・横向きで寝るなどの工夫がありますが、これらには改善の限界があります。



<検査と治療>

睡眠時無呼吸症候群の診断はポリソノグラフ検査で行われ、自宅で行う簡易検査と病院で行う精密検査があります。無呼吸の回数が1時間あたり20-40回以上と多ければ、治療を勧めます。寝ている時に大きなイビキをかく・または呼吸が止まると言われる、寝苦しい、日中に眠気が強い・体がだるい・頭が重い等の症状がある方は、一度医療機関を受診して検査を受けたほうがよいでしょう。（ただし、睡眠時無呼吸症候群の検査・治療ができる医療機関は限られていますので、事前に確認が必要です）

閉塞性無呼吸症候群の一般的な治療法として、CPAP（シーパップ）療法があります。鼻にCPAPマスクをつけて寝ると、CPAP装置からエアチューブを伝わってマスクから気道（のどから気管に通じる）へ空気が送り込まれ、狭くなった気道を開かせて無呼吸を防ぎます。CPAP療法を開始した方は、基本的に月1回、医療機関を受診する必要があります。

<平成28年度 常陸大宮済生会病院 救急患者受入状況>

※救急受け入れの人数を月別に表しています。（休日・時間外を含む）



見守り
新鮮情報

パソコンで動画を見ていたら、突然警告音が鳴り出し、止まらなくなった。パニック状態になり、画面に出ていた「対策をする」という表示のあった電話番号に連絡してしまった。電話の相手が、1万円ほど払えば音を消してくれる

と言うので、仕方なくお願いし、クレジットカード番号を教えた。相手の指示に従いパソコンを操作した後、遠隔操作により警告音と画面は消えたが、不審である。

(60歳代 男性)



ウェブサイト閲覧中の
二セの警告音にだまされないで

ひとこと助言



見守るくん

- パソコンでサイトの閲覧中に、突然、警告音が鳴り出し、「ウイルスに感染した」等という警告表示が表れたまま消えず、画面上の電話番号に連絡させるように仕向ける事例が報告されています。音や画面表示が出て、とにかく慌てず、落ち着くことが大切です。
- 画面の連絡先に電話をすると、「警告音や画面を消すため」とウイルス対策ソフト等をインストールさせられ、料金を請求されることがあります。決して画面の連絡先に、電話をしてはいけません。
- 警告音や画面を消す方法は独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) のホームページが参考になります。
- 困ったときは、お住まいの自治体の消費生活センター等へ早めにご相談ください(消費者ホットライン188)。

本文イラスト：黒崎 玄

見守り新鮮情報 第270号 (2017年1月11日) 発行：独立行政法人国民生活センター

【問い合わせ】

- 茨城県消費生活センター ☎029-225-6445
 - 常陸大宮市消費生活センター ☎52-2185(直通) (本庁商工観光課内)
- ※月・水・金曜日は消費生活相談員が対応します。

常陸大宮市史編さんだより Vol.6



茨城大学人文学部准教授 添田 仁委員（近世史部会長）

このたび市史編さん委員会に加えていただいた添田です。主に江戸時代の歴史を担当します。よろしくお願いします。

八溝山系の山々と木々、そして那珂川・久慈川がたえる水の流れに囲まれた常陸大宮市。豊かな自然、それも常陸大宮市の個性の一つです。この季節は、湯気が立つけんちん蕎麦を地産の日本酒と一緒に流し込んで、自然がもたらしてくれる恵みを堪能する方も多いでしょう。私もその一人です。

私たちの生活が、多かれ少なかれ自然の条件を基礎にして成り立っていることはいうまでもないでしょう。

江戸時代は今と比べて、人間がより自然を身近に感じていた時代といえるでしょう。

市域で暮らした人びとの生活も、自然の恵みなしには成り立ちませんでした。西の内紙の材料となる楮、諸沢や下小瀬の火打石、高部の材木、諸沢の粉こんにゃくなどが、水戸藩のふところを温めました。山や川の資源を大切に活用するしくみが地域のなりわいを支えたのです。一方で、永田茂衛門親子によって那珂川・久慈川に築かれた巨大な灌漑施設（堰）が下流域を有数の田園地帯に変えたように、人間が自然の力を操るための技術も進歩しました。



▲大正期の辰ノ口堰と瀬割堤
（『水戸藩利水史料集』より転載）

ゆえに、自然が人間の歴史に何を刻んできたのかということは、地域の歴史を考える際に無視できない大事な問題です。しかし、これまで自然の重要性は認識されていても、自然と人間、二つの歩みを編み込むような歴史叙述はあまりなされてきませんでした。たとえば歴史の教科書を見ても、人間が自然環境に与えた影響について述べた部分に比べると、気候や地殻の変動に制約された社会のあり様についての記述はかなり少ないです。新しい市史でも、「自然編」が「通史編」とは別に編まれる予定になっています。



▲幕末期の辰ノ口堰元付近『辰ノ口分江全図』
（『水戸藩利水史料集』より転載）

そして、ときに行き過ぎた開発が、土砂くずれ、洪水、獣害のような災害となって人びとの生活と命を脅かし始めたのです。

近年日本列島で頻発している自然災害は、自然と人間社会との関係をどのように考えるべきなのか、私たちに重い問いを突きつけているように思います。江戸時代の歴史には、近代以降の社会が忘れてしまった、自然と人間のつき合い方のヒントが刻まれているのではないのでしょうか。新しい市史では、自然と人間の歩みを別々に把握するのではなく、自然と人間が織りなす歴史を描くことに力を注ぎたいと考えています。

■問い合わせ■ 歴史文化振興室 ☎52 - 1450



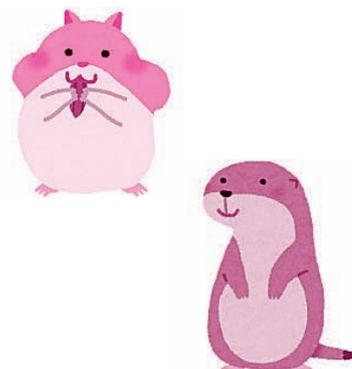
ペットと火災

近年、室内で動物を飼う人が増えています。その室内のペットが原因で、火災が発生する事がありますので注意が必要です。

1 か 噛む動物に注意

犬やハムスター、プレーリードッグといった、噛む習性のある動物を室内で遊ばせると、電化製品の電源コードや延長コードを噛んでしまい、断線してショートし、火災が発生することがあります。意外なところでは、噛み癖のある犬が、スマートフォンのバッテリーパックを噛んだことで、バッテリー内部がショートして火災が発生した事例があります。

これらの動物を室内で遊ばせる場合は、飼い主が目を離さず、バリケードやサークル等を使用して、家具の裏やベッドの下など、目の届かない所に入り込まないように注意しましょう。



2 ペットの尿で出火することも



ペットの尿が、壁付コンセントやテーブルタップ等にかかる、コンセントと電源プラグの接続部で※トラッキング現象が発生し、出火することがあります。尿には塩分が含まれ通電性が高いことから、通常の水よりもトラッキング現象が発生しやすく、発火の危険性が高くなります。ペットのトイレの近くには電気機器を置かないようにし、壁付コンセントなどにカバーをするなどの対策をしましょう。もし尿がかかってしまった場合は、直ぐにコンセントから電源プラグを外してください。

※トラッキング現象・・・電源プラグとコンセントの間にほこりがたまったり、塩水など電気を通しやすい液体がかかると、電流が流れ火花が発生します。これが繰り返されると、次第に電源プラグの表面が炭化し「トラック（炭化導電路）」と呼ばれる電気の通り道が形成され、過電流が流れることによって発火します。

3 暖房器具にも注意

室内で遊んでいたペットが、衣類やタオルなどをストーブの近くへ引きずっていったため、その衣類などに着火してしまったり、ストーブ本体を倒してしまったりして、火災が発生することがあります。ストーブ等の暖房器具は、柵や転倒防止の措置をするとともに、燃えやすいものを近くに置かないようにしましょう。



室内で遊ばせる時は目を離さない、外出する時は放し飼いにしない、ストーブをつけたまま外出しないなどの予防をしましょう。火災予防に努めることが、大切なペットの安全を守ることに繋がります。

ひたまるがゆく

今年も力走!?

1月15日に開催された「第6回常陸大宮クロスカントリー大会」に、今年もランナーとして参加しました。

普段あまり運動しないひたまる。昨年のようなことにならないよう、しっかり準備運動をして、小学校低学年の部(1,000m)に挑戦!今シーズン最強の寒波がやってきて凍りそうな寒さでしたが、元気よく楽しみながら走ることができました。

レース後は、他のランナーを応援したり、みんなと記念撮影したり、美味しい豚汁を味わったり…。楽しい1日を過ごしました。



▲スタートで出遅れたひたまる



花と緑の環境美化コンクール

第44回花と緑の環境美化コンクール(主催:大好きいばらき県民会議)に、市内の26団体から応募がありました。以下の5団体が受賞し、11月30日に表彰式行われました。

〈茨城県知事賞〉

美和高齢者クラブ連合会寿会(美和)

〈茨城県花き園芸協会長賞〉 西根長命会(緒川)

〈茨城県造園建設業協会長賞〉 川西区(緒川)

〈大好きいばらき県民会議理事長賞〉

野口第1区(御前山)、おがわ幼稚園



▲美和高齢者クラブ連合会寿会

御前山ビオトープ周辺の植物等

海沿いではたくさん見られますが、山地にも生える常緑の高木で、高さは5~6mになります。葉は長さ5~10cmほどの長楕円形です。質は厚く表面に光沢があります。

この辺りでは2~3月頃に、枝先の葉の腋に直径5~7cmで赤色の花を咲かせます。雄しべは多数あって、下部が合着して筒状になっています。基部では5個の花弁とも合着していて、花が終わると花の形のまま落ちて散るのが特徴です。果実は2~2.5cmの球形です。種子からは椿油がとれます。

ヤブツバキ



(ツバキ科ツバキ属)

(写真・データ提供 御前山ダム環境センター)

常陸大宮市の人口

(2月1日現在・推計常住者)

総人口 41,789人

(男 20,593人 女 21,196人)

世帯数 16,042世帯



QRコードから市のツイッターがご覧になれます

広報 常陸大宮 2月 第149号

発行日 平成29年2月27日

発行/常陸大宮市 編集/秘書広聴課

〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町3135-6

TEL 0295(52)1111 FAX 0295(53)6010

E-mail hishokou@city.hitachiomiya.lg.jp

URL <http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>



再生紙と植物油インクを使用しています。